

2008年08月07日

当日公表

第3回若年者ものづくり競技大会「情報技術」職種

(3) ドキュメントデザイン 競技課題

— 競技日 2008年08月07日

— 競技時間 1時間30分

1. 集合 15時15分
2. 説明 15時15分～15時30分
3. 競技 15時30分～17時00分

- ① 下記の A. <課題制作要件>を満たし、B. <留意事項>、C. <提出物の仕様>に従い、制限時間に制作をおこなうこと。
- ② D. <注意事項>を熟読して作業を行うこと。
- ③ 競技終了時までに課題を作成し、競技用 PC の指定されたフォルダに保存しておくこと。指定されたフォルダ以外に保存されていても採点の対象とならない。

A.<課題制作要件>

◆スライド作成

以下の指示に従って、リアルタイム・デザインビューア「DesignCentral Imager」の特徴を説明するためのプレゼンテーションスライドを作成しなさい。

パワーポイントを使用して、次の2種類のプレゼンテーション用スライドを作成する。

1. ロゴとフッターが入ったスライドマスタを作成する。

2. 上で作成したスライドマスタを基に、仕様に基づきプレゼンテーションスライドを7枚作成する。

1. プrezentation用 スライドマスタ作成

プレゼンテーションのために、次の仕様を満たすスライドマスタを作成する。

使用するフォントや色、背景のデザイン等は特に指定しないので、見やすいものとなるよう各自工夫をすること。

仕様1

スライド右上にロゴマーク（「課題」フォルダの中の JAVADA_Logo.gif）を配置する

仕様2

スライド下部中央に、

第3回若年者ものづくり技能大会

選手番号 氏名 (実際の番号と氏名を入力すること)
を配置する。

2. プレゼンテーション用スライド作成

「1. プレゼンテーション用スライドマスタ作成」で作成したスライドマスタを基に、それぞれの仕様を満たすスライド7枚を作成する。

スライド1枚目

表紙を作成する。

表紙にはタイトル「DesignCentral Imager 機能紹介」、所属先名、選手番号、氏名を記載すること。

スライド2枚目

スライド内に次の2つのムービーを再生させる文字列かアイコン添付し、それをクリックすると次の動画ファイルを Windows Media Player で再生されるようにすること。

「課題」フォルダ内の movie1.wmv、movie2.wmv

DesignCentral Imager の特徴として次の3つを挙げること。

- ・直感的な GUI
- ・シンプルで高精度のテセレータ
- ・描画性能を損なわないアンチエイリアス

これらの特徴に対して、次のとおりハイパーリンクを設定すること。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 直感的な GUI | → スライド3枚目にジャンプ |
| シンプルで高精度のテセレータ | → スライド5枚目にジャンプ |
| 描画性能を損なわないアンチエイリアス | → スライド6枚目にジャンプ |

スライド3枚目

「特徴の紹介」（「課題」フォルダ内の「特徴の紹介.doc」）にある「直感的な GUI」に関する内容を基に特長を説明する。ただし、図は含めないこと。

スライド4枚目

「特徴の紹介」の「直感的な GUI」にある図のうち1つ以上を貼り付けること。

画面表示切り替えに「スライドイン（右へ）」を適用させること。

スライド2枚目に戻るハイパーリンクと、それが付与されたアイコンかテキストを作成すること。

【スライド5枚目】

「特徴の紹介」の「シンプルで高精度のテセレータ」に関する内容を基に特長を説明する。

スライド2枚目に戻るハイパーリンクと、それが付与されたアイコンかテキストを作成すること。

【スライド6枚目】

「特徴の紹介」の「描画性能を損なわないアンチエイリアス」に関する内容を基に特長を説明する。

スライド2枚目に戻るハイパーリンクと、それが付与されたアイコンかテキストを作成すること。

【スライド7枚目】

「デザインコンテンツ」を取り巻くソリューションを分類すると、「表示」、「評価」、「蓄積」、「保護」の4つの観点に分けられる。その代表的なソリューションは以下のとおりであるとし、これらの製品群を理解しやすいよう図を用いて表すこと。

デザインコンテンツ：画像は「課題」フォルダ内の Design.jpg

表示：大画面表示システム「Reality Center」

 画像は「課題」フォルダ内の RealityCenter.jpg

評価：リアルタイムビューア「DesignCentral Imager」

 画像は「課題」フォルダ内の DesignCenter.jpg

蓄積：コンテンツ管理「JNICOL BlueSky」

 画像は「課題」フォルダ内の BlueSky.jpg

保護：コンテンツセキュリティ「Protezione」

 画像は「課題」フォルダ内の Protezione.jpg

B. <留意事項>

◆本競技では、下記の観点から評価を行う。

1. ドキュメントデザインの統一した設定の正確さ
 - ・ 見やすい文字・背景等の設定
 - ・ フッター等の適切な設定
2. レイアウトの適切性
 - ・ スライド全体のレイアウトの適切性
 - ・ タイトルの文字の工夫
 - ・ 図や表の配置の工夫
3. マルチメディア活用の適切性
 - ・ 画像ファイルの使用
 - ・ 他のドキュメントからのデータからの利用
 - ・ 動画の使用
4. 作図・デザイン技術の正確さ
 - ・ 効果的な図の作成
 - ・ 与えられた情報からの適切な作図・デザイン
5. スライド作成技術の正確さ
 - ・ ハイパーリンク付与等の適切さ
 - ・ 画面表示切り替え等の設定

C. <提出物の仕様>

◆ファイル名

1. スライドマスタファイル:ファイル名は「選手番号+スライドマスタ.ppt」
2. プрезентーション用スライドファイル:ファイル名は「選手番号+スライド.ppt」

◆ファイルの提出先

デスクトップ上の「課題提出」フォルダ

◆印刷物

作成したスライドファイルの印刷物:モノクロ

印刷の設定では、「印刷対象」を「配布資料」にし、1ページあたりのスライド数を3として印刷すること。

D. <注意事項>

◆服装・持ち物の注意事項

1. 服装等は、競技にふさわしいものを着用すること。空調等の問題もあるため若干の寒暖の変動に対処できるように留意すること。
2. 筆記用具は、大会主催者より提供を行なう。また、和英、英和辞書（電子辞書は不可）について持ち込みを許可する。手荷物等については、持ち込みを許可するが、競技に関係のないもの、特にPC、PHS、携帯電話等は、競技中に利用することはできない。机上に置けるものは、筆記用具・時計（必要であれば目薬）等とする。また競技中、水分補給の為にペットボトル等の閉栓可能な飲料などの持ち込みは許可する。また飲料が原因でトラブル等が発生しても競技委員は一切、関知しない。

◆競技中の注意事項

3. 時計については、競技用PC の時計および各自の時計で確認するのではなく、競技委員から説明された時計機器等を利用すること。また、競技の際には、1 時間経過、競技終了5 分前に競技委員からアナウンスを行なう。
4. 競技用PC から、インターネット（競技用ネットワーク外）にアクセスすることはできない。
5. プリンターの出力に関しては、出力前に競技委員または競技補佐員にその旨（枚数）を挙手で伝えること。
6. 事前に作成した独自のテンプレートや素材、マクロ等を利用することはできない。なお、大会主催者が用意するソフトウェアに標準の状態でインストールされている素材データやテンプレートについては、各自の判断で利用することは許可する。その内容について、事前に確認することができる。
7. 競技中に用具の貸し借り、PC およびデータの交換は禁止する。
8. 他選手の競技を妨害する行為をしないこと。
9. 機器等のトラブルが発生した場合は、挙手をして競技委員または関係者に待ち時間の記録をしてもらうこと。なお、この際に作業はしてはならない。また、競技用PC がトラブルで作成中に停止（フリーズ）した場合、その停止時間も測定する。作業が上記理由等で行なえない場合、その繰越分は、競技終了時に連続して行なう事とする。
10. 競技用PC のトラブルにより作成中のデータが失われる場合もあるため、各自データの保存やバックアップについて留意して作業を行なうこと。作成中のデータに関しては、競技用PC のハードディスクおよび競技用サーバ、データ保存用のメディアとしてUSB メモリ（64MB 以上を各競技用PC に設置）が利用できるので、これらのデータ保存可能な場所にデータを適宜バックアップすることを推奨する。
11. 制限時間内に作業完了した場合、「作業完了」と挙手をし、競技委員に意思表示を行なうこと。

12. 競技中に不正があった場合、また、競技委員に不正を指摘された場合、選手はすべての作業を中止して退場すること。
13. 競技中のトイレについては各自適宜行う。その際は必ず競技委員に申し出ること。なお、所要時間については作業時間に含まれる。
14. 安全衛生上の観点から各自、作業中に適当な休憩を取ること。その際に競技会場からの退出は禁止する。また他の競技者の妨害とならないように注意すること。

◆その他の注意事項

15. 選手はトイレ又は休憩、昼食時には、一切、競技用PCに触れないこと。
16. 選手は昼食時、競技課題及び内容に関して、監督者及び他の競技参加選手と会話することはできない。
17. 制作した課題の著作権は大会主催者である中央職業能力開発協会に帰属する。しかし、制作した著作物の引用の責任については制作者側にあるものとする。

以上